

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名	県単道路改築事業		路河川名等	(一)天竜峡(停)下平線		
事業毎の通番	9	市町村名	飯田市	箇所名(ふりがな)	雲母下(きらした)	
事業目的	当路線は飯田市下平地区から飯田市天竜峡を結ぶ道路として、沿線住民にとって重要な生活道路である。しかしながら、当該箇所は道路幅員が狭く、すれ違いも困難な箇所である。このため、道路拡幅事業の実施により円滑な交通確保ならびに歩行者の安全確保を図りたい。					
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-8生活を支える地域交通の確保(生活の基盤となる道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等	なし					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量:706台/日					
着手年度	平成30年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成35年度	費用対効果	1.2	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	*道路拡幅工 L=300m、W=5.5(7.0)m			100,000	90,000 10,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費等の減少				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光アクセスの向上				
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画交通量:706台/日</li> <li>○代替道路の有無:代替道路(米川飯田線等)があるが狭隘区間があり安全性が低い</li> <li>○医療・福祉・教育施設との連携:竜東中学校との連携が発揮できる道路(1次アクセス)</li> <li>○交通結節点アクセス:JR天竜峡駅への1次アクセス、三遠南信自動車道 龍江ICへのアクセスに資する</li> <li>○観光振興・地域の活性化:天竜峡・天竜ライン下りへのアクセスに資する</li> </ul>			評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関連計画、重点施策との整合:なし</li> <li>○緊急輸送道路の路線指定:飯田市緊急輸送道路に指定されている</li> <li>○地域指定:地震防災対策強化地域に指定されている</li> </ul>			評価	B
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用便益比(B/C):1.15</li> <li>○事業期間:6年間</li> <li>○工法等の比較検討:コスト削減のための比較検討あり</li> <li>○他事業との連携:なし</li> </ul>			評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○近年の交通事故件数:なし</li> <li>○道路環境改善:車両のすれ違い時の接触の危険性を減らす</li> <li>○歩道整備:なし</li> <li>○現況の車道幅員、半径、勾配:車道幅員3.5m</li> </ul>			評価	B
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有:事業要望について住民の間で周知されている。</li> <li>○地域の取り組み:積極的な取り組みがある</li> <li>○地域の合意形成:合意形成が図られている</li> <li>○住民との協働:竜東中学校において沿道美化活動(ゴミ拾い)が行われている。</li> </ul>			評価	A
	所管課意見	事業の必要性、計画熟度が高いため、平成30年度から事業化したい。			採択状況	総合評価
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。			O	B	

事業概要説明図表	位置図		
	平面図		
事業周辺環境	交通状況		
	構造図、完成予想図等		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は飯田市下平地区から飯田市天竜峡を結ぶ道路として、沿線住民にとって重要な生活道路である。しかしながら、当該箇所は道路幅員が狭く、すれ違いも困難な箇所である。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、沿線住民にとって重要な生活道路である。また、中学校があることから、歩行者の保護が求められている。このため、円滑な交通確保ならびに歩行者の安全確保を要望されている。	
	③事業説明等の経緯	雲母配水池から竜東中学校までの間は、既に県により沿線住民への事業説明がH21.3に完了している。また、雲母配水池までに関しましてはすでに拡幅が完了されている。このため本事業区間も早期の事業化が求められる。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	構造物を避け、土羽にて緑化を行う。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	天竜峡・天竜ライン下りへのアクセス道路として、観光アクセスの向上が期待される。	
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 26' 38" 東経:E 137° 50' 54"